Mizuho Daily Market Report

2022/5/17

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	129.36	129.16	▲0.06	▲1.13
EUR	1.0411	1.0434	+0.0022	▲0.0127
AUD	0.6900	0.6971	+0.0031	+0.0019
SGD	1.3947	1.3918	▲0.0011	+0.0011
CNY	6.8025	6.7861	▲0.0031	+0.0553
MYR	4.3977	4.3987	+0.0000	+0.0142
THB	34.84	34.78	+0.00	+0.17
IDR	14697	14613	+0	+55
PHP	52.50	52.49	+0.04	▲0.00
INR	77.48	77.45	+0.00	▲0.02

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	2.882%	▲3.6 bp	▲15.2 bp
日本(10年)	0.247%	+0.1 bp	▲0.1 bp
ユーロ圏(10年)	0.937%	▲1.1 bp	▲15.8 bp
オーストラリア(5年)	3.053%	+1.0 bp	▲20.0 bp
シンガポール(5年)	2.566%	+0.0 bp	▲14.2 bp
中国(5年)	2.572%	+0.0 bp	▲2.4 bp
マレーシア(5年)	4.022%	+0.0 bp	▲13.2 bp
タイ(5年)	2.626%	+0.0 bp	▲3.9 bp
インドネシア(5年)	6.831%	+0.0 bp	+23.7 bp
フィリピン(5年)	5.764%	+11.3 bp	+48.4 bp
インド(5年)	7.127%	+0.0 bp	▲14.6 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	32,223.42	+0.1%	▲0.1%
N225(日本)	26,547.05	+0.5%	+0.9%
STOXX50(ユーロ圏)	3,685.34	▲0.5%	+4.5%
ASX(オーストラリア)	4,120.34	+0.5%	+3.3%
FTSTI(シンガポール)	3,191.16	+0.0%	▲2.6%
SSEC(中国)	3,073.75	▲0.3%	+2.3%
KLSE(マレーシア)	1,544.41	+0.0%	▲0.3%
SETI(タイ)	1,584.38	+0.0%	▲1.3%
JKSE(インドネシア)	6,597.993	+0.0%	▲4.5%
PSE(フィリピン)	6,502.12	+1.9%	▲3.8%
SENSEX(インド)	52,973.84	+0.3%	▲2.7%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	315.59	+2.3%	+5.4%
金	1,824.14	+0.7%	▲1.6%
原油(WTI)	114.20	+3.4%	+10.8%
銅	9,255.50	+0.8%	+0.2%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】			
USD/JPY	128.00	–	132.00
EUR/USD	1.0400	–	1.0600
AUD/USD	0.6800	–	0.7060
USD/SGD	1.3860	–	1.3410
USD/CNY	6.7200	–	6.8500
USD/MYR	4.3620	–	4.4000
USD/THB	34.35	–	34.90
USD/IDR	14530	–	14680
USD/PHP	52.25	–	52.80
USD/INR	77.00	–	77.90

【本日の相場方向感】			
USD/JPY	Bull (2)	<	Bear (4)
USD/SGD	Bull (2)	<	Bear (4)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】
アジア時間のドル円は129円台半ばでオープン。公示仲値決定のタイミングにかけ小幅に上昇したものの、その後は反落。その後、発表された中国4月の鉱工業生産、小売売上高が予想比悪化し、経済停滞懸念が強まったことを受け、128円台後半まで下落。同水準では下げ渋り129円ちょうど近辺まで反発して海外時間に渡った。

アジア通貨はまちまち。アジア時間午前に発表された中国指標が予想を下回ったことを受けて対ドルで下落。シンガポールドルはその後、対ドルで下落幅の一部を縮小させたが、タイバーツは下落幅を拡大させ直近安値を更新。

欧州時間、アジア時間後半からの円売り戻しの流れが継続。129円台半ばまで上昇して米州時間へ。米州時間朝方は5月NY連銀製造業景気指数が予想を大きく下回り、この3か月の間で2回のマイナスとなったことから景気悪化が意識され、米金利が低下する中ドル売りに再度129円台ちょうど近辺まで下落する。米州時間午後に入りダウ平均がプラス圏へ上昇する動きに円売りが強まり、129円台半ばまで戻すが、再び株式市場がマイナス圏へ下落する動きを受け下落し、129円台前半でクローズした。

【金利】
米債利回りは長期でパラレルに金利低下。米州時間朝方に発表された5月ニューヨーク連銀製造業景気指数の数値が予想を大幅に下回りマイナスとなったことに加え、アジア時間に中国の工業生産の発表が弱い結果となったことで、世界的景気減速懸念からの安全資産買いが強まった。

【予想】
本日のドル円は堅調な推移を予想。中国の先行き不透明感が漂う中、積極的にリスクをとる動きとはなりにくいと思われる一方で、昨日の値動きからは128円台での底堅さも感じられ、日米金融政策差に着目した押し目買い意欲もあると予想。ドル円は同水準で底堅く推移しよう。

【本日の予定】
(日本) 3月 第3次産業活動指数
(日本) 自民党安倍派ﾊﾟｰﾃｨｰ
(アジア) 1Q ﾀｲ GDP
(アジア) 4月 NZ 非居住者 国債保有率
(アジア) 4月 ｲﾝﾄﾞ 卸売物価
(アジア) 4月 ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ 貿易収支
(アジア) 4月 ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ 非石油地場輸出 / 電子機器輸出
(アジア) 5月 豪 RBA 議事要旨
(アジア) 豪 ANZﾛｲ･ﾓｰｶﾞﾝ 週次消費者信頼感指数
(欧州) 1Q ﾕｰﾛ圏 GDP(速) / 雇用(速)
(欧州) 1Q 仏 ILO失業率統計
(欧州) 3月 伊 貿易収支
(欧州) 3月 英 雇用統計
(欧州) 3月 西 貿易収支
(欧州) 4月 伊 CPI(確)
(欧州) 4月 英 失業率 / 失業保険申請件数推移
(欧州) 独 国債入札(2Y)
(米国) 3月 ﾈｯﾄTICﾌﾛｰ合計
(米国) 3月 企業在庫
(米国) 4月 小売売上高
(米国) 4月 鉱工業生産 / 設備稼働率 / 製造業
(米国) 5月 NAHB住宅市場指数
(米国) ﾊｰｶｰ・ﾌｨﾗﾃﾞﾙﾌｨｱ連銀総裁講演
(米国) ﾌﾞﾗｰﾄﾞ・ｾﾝﾄﾙｲｽ連銀総裁講演
(米国) ﾒｽﾀｰ・ｸﾘｰﾌﾞﾗﾝﾄﾞ連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。